

SPRING/2025
VOL.105

発行/(公財)東京都人権啓発センター

誰もが幸せを実感できる社会へ

TOKYO人権

すべての
子どものために



Sesame Street® and associated characters, trademarks and design elements are owned and licensed by Sesame Workshop. © 2025 Sesame Workshop. All rights reserved.

出張展示

東京都人権プラザで実施した企画展示や、人権に関する写真やポスターパネル、体験用具などを都内の学校・図書館・官公庁などにお貸し出しします。人権に関する教育活動やイベントの際は是非ご活用ください。

展示内容

下記以外でもご希望のテーマや会場希望等に応じて展示内容をオーダーメイドでご提案いたします。

- パネル展示
「世界人権宣言を読もう！」
テーマ：人権
- 障害者スポーツ / パネル展示
「みんなのスポーツ」
テーマ：障害者スポーツ
- 本 / 解説パネル展示
「読む人権 じんけんのほん」
テーマ：多様なテーマ
- パネル展示
「チェック！ あなたとSNS」
テーマ：インターネットと人権
- パネル展示
「はたらくフロンティア」
テーマ：障害者の働き方
- バナー / 福祉サポート用具展示
「いっしょに生きる」
テーマ：身体障害者、補助犬



【問い合わせ】（公財）東京都人権啓発センター 普及啓発課 TEL 03-6722-0085

人権を知る・学ぶ学習会

行きます！

学校で人権問題体験学習会



学校での人権教育を支援する事業として、ワークショップや講演会など、交流や体験を通して人権を学ぶ学習会を実施しています。各人権テーマの「エキスパート」が学校を訪問し、児童・生徒が人権問題について当事者の立場で考える機会を提供します。

【実施事例】バリアフリー／ユニバーサルデザイン、障害者との交流、アイヌ文化体験、多文化共生体験、いじめ問題、LGBTQ、パラスポーツ体験など

【申込方法】令和7年度分は4月より募集を開始します。

【所要時間】1回あたり45分から100分（学年、プログラムに応じて変わります。一部のプログラムについてはオンライン実施も可）

【問い合わせ】（公財）東京都人権啓発センター 普及啓発課
TEL 03-6722-0085



来てね！

東京都人権プラザで人権学習会



人権プラザでは、団体見学を受け入れています。専門員による人権についての講話や展示の解説、体験プログラム（車いすや高齢者体験キットを用いたバリア体験、パラスポーツ体験）など、児童・生徒向け学習会をはじめ、教職員や企業向け研修など、団体の要望に応じたプログラムをご用意しています。

【学習テーマ】人権や差別に対する考え方、スポーツと人権、SDGs、LGBTQとジェンダー、子供・障害者の人権など

【申込方法】事前にお申し込みが必要です。希望日時、目的や希望内容、参加人数をお聞きした上で、担当者から提案書をお送りします。

【所要時間】プログラムに応じて変わります。

【問い合わせ】東京都人権プラザ
TEL 03-6722-0123



東京都が掲げる17の人権課題

●女性 ●子供 ●高齢者 ●障害者 ●同和問題（部落差別） ●アイヌの人々 ●外国人 ●HIV感染者・ハンセン病患者・新型コロナウイルス感染症等 ●犯罪被害者やその家族 ●インターネットによる人権侵害 ●北朝鮮による拉致問題 ●災害に伴う人権問題 ●ハラスメント ●性自認 ●性的指向 ●路上生活者 ●様々な人権課題（順不同）

YouTube / 公財・東京都人権啓発センター

主催事業等に関する動画をアーカイブし、YouTubeの公式チャンネルで公開しています。是非ご覧ください。



動画の一例

令和6年度第1回人権啓発指導者養成セミナー「いじめ問題に関するトークセッション」／令和6年度第1回人権問題都民講座「アイヌ文化と多様性」



公益財団法人
東京都人権啓発センター
TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PROMOTION CENTER

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6
芝256スクエアビル2階
TEL 03-6722-0082（総務課）
FAX 03-6722-0084
<https://www.tokyo-jinken.or.jp/>



東京都人権プラザ
TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PLAZA



（公財）東京都人権啓発センターは東京都人権プラザの指定管理者です。

TOKYO 人権

目次 CONTENTS

3 INTERVIEW

「セサミストリート」が伝えたいこと
—すべての子どもたちが「かしこく」「たくましく」
「やさしく」育つように

セサミストリートジャパン合同会社 シニアマネージャー
よしだ まりん
吉田 麻鈴 さん

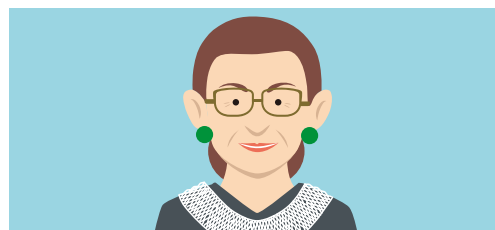


TM and © 2025 Sesame Workshop

7 子ども向け企画

きみは、知ってる？

男女差別と闘い社会を変えたアメリカ最高裁判所判事
ルース・ベイダー・ギンズバーグ



8 人権キーワード解説

「ハラスメント」って何？

人権カルチャーステーション

[評者] 横浜国立大学教授 すがわ あきこ
須川 亜紀子 さん



9 特集

拘禁刑導入の背景

一出所者の社会復帰を見据えた取り組み

10 JINKEN note

人権の視点で知る本・映画



毎週土曜日
放送中！



(公財) 東京都人権啓発センターでは、
身近な人権をテーマとして、リスナー
に分かりやすく取り上げる人権啓発ラ
ジオ番組を提供しています。

人権
TODAY

最近の放送テーマ 世界一敷居が低い患者会を目指す「IKEBUKURO 難病カ
フェ」/ 阪神淡路大震災から30年。震災後に神戸市長田区に移り住んだ人たちに聞く

番組名 | 人権TODAY「まとめて！土曜日」内のコーナー
放送局 | TBSラジオ FM90.5MHz / AM954kHz
放送日時 | 毎週土曜日 朝8時22分頃から5分間
キャスター | 藤森祥平さん、北村まあささん ほか



「セサミストリート」が伝えたいこと
 —すべての子どもたちが「かしこく」「たくましく」
 「やさしく」育つように

よしだ まりん
 吉田 麻鈴さん
 セサミストリートジャパン合同会社
 シニアマネージャー



経済格差がもたらす

子どもの学力格差を是正するために

「セサミストリート」は1969年にアメリカで生まれました。当時のアメリカは、人種差別や経済格差、移民問題など、さまざまな社会課題に直面していました。特に、黒人や移民の低所得家庭の子どもたちは、グレード1（日本では小学校1年生に相当）の時点で既に3か月分の学力の遅れがあり、その差は学年が進むにつれて広がっていったといいます。

こうした背景には、入学前にプレスクールやキンダーガーテン（幼稚園や保育園）へ通えるかどうか大きな影響を及ぼしていました。低所得家庭の子どもたちは、そうした施設には通えず、家庭で過ごす時間が長く、テレビ視聴が主な過ごし方となっていました。そこで、テレビを活用し、すべての子どもたちに平等で、そして質の高い教育を届けようという想いから、「セサミストリート」が誕生したのです。

マイノリティーの現実を映す、
 前例のない設定

当時はテレビが普及し始めた頃で、子ども向けの番組には、教育的なものではなく、子どもを見下したものが多かったといえます。また、番組の作り手は大多数がマジョリティーの人たちであったため、



セサワークショップは、「セサミストリート」をはじめ様々な活動を世界中で展開している非営利団体です。50年以上にわたり、教育、メディア、研究の3つを融合させ、心や感性を豊かにする楽しい体験を創出してきました。すべての子どもたちがかしこく、たくましく、やさしく育つよう支援するという理念を掲げ、世代を超えて親しまれるキャラクターや番組、コミュニティーへのアウトリーチ活動を通じて、150以上の国や地域で良質な教育を届けています。

HP: www.sesameworkshop.org

www.sesamestreetjapan.org

その他、Instagram, X, Facebook, TikTok
でも情報を発信しています。

セサワークショップ



セサミストリートジャパン



当時のアメリカの社会問題を 背景にして生まれた、 子ども向けの教育番組



有色人種や移民といった社会的マイノリティーの子どもたちを対象にした番組は、存在しませんでした。

そこで、「セサミストリート」では、黒人や移民の子どもたちにも親しみやすい番組作りが重要なテーマとなりました。たとえば、舞台を子どもたちが実際に生活する身近な風景であるレンガ造りの街並みに設定することで、興味を持ちやすくなるよう工夫されています。

もちろん、番組内には、子どもたちの大好きなおとぎ話やファンタジーも散りばめられており、自分の生活で実際に会うような人たちとカラフルなモンスタースターたちが共存している世界観を描くこともその工夫のひとつです。

100種類を超える 多様なキャラクターが 織り成す世界

「セサミストリート」には、100種類以上の多彩なキャラクターが登場します。「すべての子どもたちが番組の中に自分を見つけられるように」というコン

セプトのもと、各キャラクターには、独自の性格、好み、家庭環境や経験、そして学習テーマが設定されています。

たとえば、「エルモ」は、好奇心旺盛でかわいらしいモンスタースターとして親しまれ、真っ赤な体や独特のクスクス笑いが特徴ですが、それだけでなく、自分の視線で世界を探求するという学習目標を持っています。

一方、「クッキーモンスタースター」はクッキーが大好きなキャラクターとして誕生しました。かつては、大好きなものを見ると衝動的に反応していた彼ですが、近年はその衝動を抑え、食べる順番を考えるなど、自らの欲望をどうコントロールするかを学ぶ姿が描かれています。こうして、どのキャラクターにもそれぞれの学習目標が設定され、子どもたちに多様な価値観や行動の指針を提供しているのです。

さらに、番組が世界中で放送されるようになると、それぞれの国や地域、時代の社会課題に合わせたキャラクターも登場するようになりました。南アフリカでは、HIV陽性のキャラクター「カミ」が、感染に対する偏見や差別に直面する子どもたちへ、「触つても伝染らない」という明確なメッセージを発信しています。

他の国でも、アフガニスタンで女子教育に携わる女の子「ザリ」、インドで多様な文化や問題解決の楽しさを伝えている「チャムキ」など、各地域に根ざし

たキャラクターが活躍しています。

キャラクターの設定プロセスは実に入念です。まず、幼児発達の専門家、教育者、心理学者など、各テーマの専門家をアドバイザーとして迎え、カリキュラムチーム、テレビ番組制作チーム、キャラクター制作チームが連携して、キャラクターの学習テーマ、性格、背景などを設定しています。その過程には、ニーズ調査やテーマの研究、実際の子どもたちによる視聴評価といったリサーチを重ね、効果測定を経た上で調整が加えられています。たとえば、自閉症である「ジュリア」は、このプロセスに約10年を要して作られたキャラクターの一例です。

ただしここで気を付けなければならぬのが、ジュリアがすべての自閉症を代表しないようにすることです。自閉症にもいろいろな特性がありますから、あくまで「これはジュリアの自閉症の特性」といった表現を心がけています。これはジュリアに限ったことではなく、すべてのキャラクターが過剰な代表者にならないよう、注意を払っています。

リサーチルームで検証を重ね、子どもの視点を番組に反映する

番組では、本物のアーティストやセレブリティが登場することも大きな特徴です。その時代の文化やニーズに合わせた



コンテンツを制作することで、常にリアルな体験を提供しています。

「セサミストリート」は、子どもたちにさまざまなテーマを伝える番組として、貧困、障害、人種といった難しいテーマにも、子どもたちの成長に必要であれば、決して視線をそらさず、^{しんしん}真摯に取り組む姿勢を大切にしています。

その一例が「人の死」というテーマです。かつて、番組に出演していたフーバーさん役の俳優が亡くなったとき、制作陣はその現実を子どもたちにどう伝えるかを慎重に考え、番組の物語の一部として取り上げることになりました。

また、私たちは、常に子どもたちの視点に立つことを大切にしています。前述したように、番組制作では、まず専門家が集まり、台本や脚本を作成します。その後、撮影した映像を社内のリサーチルームで子どもたちに視聴してもらい、彼らの反応を注意深く確認します。リサーチルームでは、撮影映像とともに、

子どもたちが好む全く異なる映像も流し、どのタイミングで目線がそれるか、どのシーンで笑いが生まれるかなどを細かく観察します。このプロセスを通じて、子どもたちが何を感じ、何を学んだのかを把握し、うまく伝わらなかった部分は修正して次のシーズンに反映させています。このように、常に子どもたちの反応を重視し、そのフィードバックを制作に取り入れています。

「かしこく」「たくましく」「やさしく」——セサミストリートが目指すもの

「セサミストリート」を制作している私たち「セサミワークショップ」のミッションは、「世界中のすべての子どもたちがかしこく、たくましく、やさしく育つように支援すること」です。子どもたちにとつては信頼できる友だちであり、大人たちにとつては価値あるパートナーでありたいという願いが込められています。

日本では、小学校を拠点に「セサミストリートカリキュラム」を展開しています。これは、セサミストリートが世界中で展開している金融教育プログラムから発展したものです。お金の大切さや貯金の重要性を伝えるだけではなく、自分の夢や将来を考える中で、お金や時間、学びがどのような意味と価値を持つのかを、小学生と共に考える取り組みでした。このプログラムは先生からの反響が非常に大

きく、金融教育に多様性教育の要素を組み合わせ、「キャリア」「お金の価値」「多様性とインクルージョン」という3つのテーマをもとに、「セサミストリートカリキュラム」が生まれました。現在、全国で約2万人の小学生が、毎日このコンテンツに触れられる環境が整っています。

人権プラザとコラボし、「子どもの権利」を学ぶ場を

2023年から、東京都人権プラザとのコラボレーション企画として、「セサミストリートの仲間たちと学ぼう！子どもの権利」という特別展示を開催しています。この企画を依頼されたとき、「これは日本でぜひ取り組むべきプロジェクト



自閉症の「ジュリア」やHIV陽性の「カミ」 ——「子どもの権利」の尊重がもたらす 深く強いインクルージョン



チャムキ

インドで活躍している5歳の女の子。世界や外国の文化を学ぶことに意欲的。アートに夢中で、音楽や新しいスポーツに挑戦するのが好きです。



ザリ

新しいことを学ぶのが大好きな6歳の女の子。最近学校に通い始めました。アフガニスタンをはじめとする中東地域でガールズエンパワーメントに取り組んでいます。



カミ

南アフリカに住む、知識欲が旺盛な5歳の女の子。HIV陽性で、健康でいることや楽しく生きていくことの大切さを伝えています。

だ」と感じ、アメリカ本部に伝えました。前述のとおり、「セサミストリート」は子どもたちの成長を支援し、すべての子どもたちが良質な教育を受け、自分の可能性を最大限に発揮できるようにするために生まれた番組です。だからこそ、子どもの権利は最も重要なテーマのひとつなのです。

多様性の受容と、考える楽しさが、前向きに生きる力を育む

私たちが子どもたちに伝え続けているメッセージは、大きく分けて3つあります。一つは、多様な背景を持つ人々と共に生きることの大切さです。その中で自己肯定感を育み、自分にも他者にも権利があることを認識し、互いに優しく接する大切さを伝えたいと考えています。

次に、学ぶことの楽しさと、学び続けることの大切さです。「セサミストリートカリキュラム」では、「考えることを楽しむ」という姿勢を身に着け、時代の変化に合わせながら、よりよい世界を築くために自分がどう行動すべきかを考える力を養うことを目指しています。

そして最後に、どんな状況でも希望を持ち、前向きに生きる力を育むことです。世界では危機的な状況にある子どもたちも多く、日本においても災害などで避難を余儀なくされることがあります。そんな中でも、希望を胸に前に進む力が、子

どもたちの未来を支える重要な要素であると信じています。

私たちは、世界や日本のどこにいても、皆さんが自然に「セサミストリート」に出会い、その魅力に触れられるよう努めています。キャラクターのかわいらしさやストーリーの面白さ、活動への関心など、どんな入り口でも構わないので、ぜひ「セサミストリート」に遊びにきてください。そして、そこで出会う仲間たちと友だちになっただけのとうれしいです。インタビュ―田村 鮎美（東京都人権啓発センター専門員）／編集 杉浦 由佳／撮影（ページ）百代／Sesame Street® and associated characters, trademarks and design elements are owned and licensed by Sesame Workshop. © 2025 Sesame Workshop. All rights reserved.

吉田さんのおすすめコンテンツ



右／『ジュリアとともだちはどんなときでも』
（株式会社イマジネーション・プラス）

左／『セサミストリート シーズン 54』U-NEXTにて独占配信中

きみは、 知ってる？

男女差別と闘い社会を変えた

アメリカ最高裁判所判事

ルース・ベイダー・ギンズバーグ

1930年代のアメリカには激しい男女差別がありました。「女性は家において家事や育児をするもの」と考える人が多く、女性であるということだけで、大学への入学を断られたり、同じ仕事をしていても男性より給料がずっと少なかったりしました。そうした社会の不平等をなくすために、ルースは弁護士になり、女性の権利のために闘いました。最高裁判所で担当した6つの裁判のうち、5つで勝利をおさめ、女性が男性と平等にあつかわれる権利を勝ち取ったのです。



私は自分の性別を理由にした、特別扱いなど求めません。求めることはただひとつ。私たちが踏みつけている皆さんのその足をどけてください。



ルース・ベイダー・ギンズバーグ

二

うしてルースはアメリカでもっとも影響力のある女性弁護士になりました。そうした功績から、1980年に控訴裁判所の裁判官となりました。そこで13年間務めた後、ルースは60歳の時に最高裁判所の判事に任命されます。9人いる判事の中で女性はルースともうひとりだけで、その女性が引退してしまうと女性はルースだけになってしまいました。圧倒的な少数派になっても、多数派が支持する、時として不公平で不平等な意見に対して「反対」し続けました。

公平・平等



もっと
知りたい
ときは

『わたしは反対! 社会をかえたアメリカ最高裁判所
ルース・ベイダー・ギンズバーグ』
(デビー・リヴィ文/エリザベス・バドリー絵/
さくま ゆみこ 訳/子どもの未来社/2022年)

※1 最初の裁判の結果に納得がいけないときに、もう一度判断を見直してもらう裁判所。
※2 裁判で話を聞き、証拠を見て、どちらが正しいかを決める仕事をする人。

ハラスメントって何？

ハラスメントとは、英語で「いやがらせ」や「いじめ」を意味する言葉で、他の人を傷つけたり、いやな気持ちにする言葉や行動のことです。ハラスメントにはいろいろな種類があります。たとえば、相手の許可なく体をさわったりすることを「セクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）」といいます。また、学校や職場で必要以上にきびしい注意や叱り方をすることを「パワー・ハラスメント」といいます。発言したり行動したりした人が「そんなつもりはなかった」と思っている、相手が「いやだな」と感じたら、それは「ハラスメント」になります。

他にも妊娠している女性への「マタニティ・ハラスメント」や国籍や出身地を理由とした「レイシャル・ハラスメント」などがあります。



人権キーワード

解説

このコーナーでは、聞いたことがあるけれど、わかりにくい人権に関連するキーワードを解説します。

人権カルチャーステーション

「人権の視点」をもつことで世界の見え方が変わる

Series-7

中高生向け
アニメレビュー

『ハウルの動く城』

#家族

#生きづらさ

#人権



© 2004 Diana Wynne Jones/Hayao Miyazaki/
Studio Ghibli, NDDMT

原作 ダイアナ・ウィン・ジョーンズ
脚本・監督 宮崎 駿
プロデューサー 鈴木 敏夫
音楽 久石 譲
上映時間 約119分
配給 東宝
公開日 2004年

信頼で結ばれる「家族」像

宮崎駿監督作品『ハウルの動く城』には血縁関係のない“共同体的”家族像が描かれる。謎の動く城に住む身寄りのないハウルは、イケメンだが悪名高い魔法使いと人々から恐れられるが、実は、師匠で王室付きの魔法使い・サリマンから逃げていた小心者だ。一方、地味な帽子屋の少女ソフィーは、そのハウルに偶然助けられたことで、荒れ地の魔女に狙われ、老婆に変えられてしまう。家にいづらくなった彼女は、ハウルの城に侵入。掃除婦として居候する。よそ者を入れないはずの火の悪魔カルシファーや、ハウルの弟子マルクルもソフィーになつき、やがて魔力を奪われ本来の老人の姿になった荒れ地の魔女、サリマンの犬ヒン、奇妙なカカシ・カブも加わり、血縁のない者たちが家族のように暮らし始める。陽気で男性に人気の妹に、ソフィーは劣等感を抱き、義母にはサリマンの罠を仕掛けられる仕打ちをうける。血縁ではなく強い信頼こそが家族を形作っているのだ。

評者

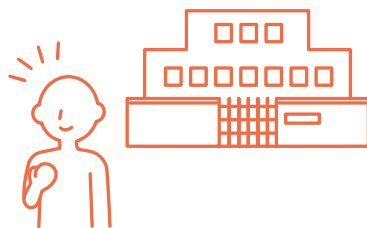
須川 亜紀子（すがわ・あきこ）
横浜国立大学教授

アニメ・漫画・2.5次元舞台などのオーディエンス／ファン研究。『2.5次元文化論：舞台・キャラクター・ファンダム』（青弓社、2021年）『2.5次元学入門』（青土社、2024年）など。

特集

拘禁刑導入の背景

―出所者の社会復帰を見据えた取り組み



これまでの刑法には身体の自由を制限する刑罰として、「懲役刑」と「禁錮刑」がありました。懲役刑は刑務所で作業を行うことが義務付けられる刑罰、禁錮刑は作業が課されない刑罰です。2025年6月に施行される改正刑法では、この二つが統合され、「拘禁刑」が新たに創設されます。拘禁刑の導入に向けて、新しい矯正プログラムの取り組みがすでに始まっています。今回の改正による影響や背景について、東京大学法学部教授の川出敏裕さんに伺いました。

受刑者の社会復帰を見据えて

川出さんによると、自由刑（受刑者の移動の自由を制限する「懲役」「禁錮」「拘留」の3つの刑）を一本化する議論は以前からあったものの、今回実現したのには主に次の二つの理由があるとのこと。

まず、懲役刑における作業は、元々「懲らしめ」の意味合いを持っていますが、時代とともに「受刑者を社会復帰させるための手段」としての意味合いが強くなってきたことが挙げられます。刑務所では作業以外にも改善指導や教科指導^{※1}も行われています。受刑者の中には作業よりも改善指導や教科指導の方が社会復帰に役立つ人もいます。しかし、懲役刑では、例外なく作業が義務付けられているため、適当な処遇ができないケースがありました。

もう一つは、再犯率が上昇していた^{※2}ことを背景として、政府全体として再犯防止の取り組みが開始され、2016年12月に「再犯防止推進法」が施行されたことです。その一環として、刑務所での処遇を受刑者の再犯を防止するのに適したものとするための検討が進められました。

今回の改正では、「作業は懲らしめのためではなく、指導と並んで、受刑者の改善更生と社会復帰を図るための手

段である」ことが明確にされました。「拘禁刑の下では、受刑者一人ひとりの特性に応じて、作業と指導を適切に組み合わせた処遇が実施されることとなります」と川出さんは話します。

受刑者の特性や能力に応じた取り組み

川出さんによると、「これまでの出所者の中には『職場でうまくコミュニケーションが取れない』『自分から進んで課題を設定し、解決することができない』といった課題があるため、職場に定着できない人が少なくない」と言います。そのため、拘禁刑の下では、「コミュニケーション能力や課題解決能力を身につけられるような新たな内容の作業が検討されています」。

また、特別な支援が必要な受刑者に向けた取り組みも始まっています。北海道の札幌刑務所では、精神障害のある受刑者を対象に、刑務官に加え、医師、看護師などの専門職と、保健医療・福祉関係などの外部専門機関が連携した処遇プログラムが、拘禁刑導入のモデル事業として始められています^{※3}。川出さんは「高齢者や若年者、摂食障害のある女性など、特定の事情を抱える受刑者に対しても、それぞれに適した処遇プログラムが検討されている」と

話します。

誰もが自分らしく暮らせる社会へ

「出所者が社会の中で暮らしていくためには、周囲の人々が偏見を持たず、職場等でも普通に接することが大切です。罪を犯した人にはそれぞれの事情があり、再び犯罪をしたいと思います人はほとんどいません。出所後に暮らせる住まいや働ける場があるなら、再犯はもつと少なくなります」と川出さんは指摘します。拘禁刑の導入によって、一人ひとりに適した処遇プログラムが実施されますが、社会復帰には周囲の理解と支えが欠かせません。出所者の社会復帰を支えるためには、社会全体で出所者の人たちの居場所をつくっていくことが大切といえます。

インタビュアー・執筆 藤本 尊正（東京都人権啓発センター 専門員）



川出 敏裕さん

※1 学校教育に準ずる内容の指導を行うこと。

※2 警察庁の統計によると、2004年から2020年まで再犯率は上昇していましたが、それ以降は徐々に減少しています。（『令和6年度版再犯防止推進白書』p. 19、法務省 https://www.moj.go.jp/hisho/saihanboushi/hisho04_00117.html）

※3 法務省矯正局「札幌刑務所における精神障害受刑者処遇・社会復帰支援モデル事業について」令和6年3月15日付報道発表資料（https://www.moj.go.jp/kyousei1/kyousei08_00128.html）

JINKEN note

人権についてもっと知り、学びを助けてくれるおすすめの本・映画

人権の視点で知る本・映画

人権に関連した話題がもっと身近に感じられるよう、当センターで人権の学びをサポートする「専門員」おすすめの作品を題材に、人権の視点で考えるためのポイントを解説します。

書籍レビュー



石原 真衣・村上 靖彦 著
2024 年／岩波書店

『アイヌがまなざす 痛みの声を聴くとき』

本書は、アイヌ民族の遺骨返還運動、アイヌの出自を持つ女性が受けてきた複合差別、そしてアイヌを文化継承などの回復の問題としてきた学界への思いという3つのテーマを軸に、アイヌの出自を持つ5人へのインタビューと、インタビュアー2人の分析と論考によって構成。当然ながらそれぞれの問題は一枚岩でなく、複雑な事情が交差している。

社会から向けられてきたまなざしを、アイヌはどのようにまなざし返しているのか。当事者の声を聴き、アイヌの過去・現在・未来を考える一冊。

ポイント

「まなざす」という印象的な言葉は、研究の対象や観光資源といった視点からアイヌを「消費」してきた和人※1に、現実を考えるきっかけを投げかけてきます。

特権的な立ち位置にある多数派は、その特権から疎外された少数派からの訴えがあって初めてその不平等や不正義に気付くこともできます。

その痛みの声を聴き、受け取ることで、問題を理解する糸口がつかめるのではないのでしょうか。

執筆 東野 明子（東京都人権啓発センター 専門員）

映画レビュー



© 山内マリコ／集英社・『あのこは貴族』製作委員会

監督・脚本 岨手 由貴子
原作 山内 マリコ
『あのこは貴族』
(集英社文庫刊)

2021年公開
124分／G／日本

『あのこは貴族』

東京の裕福な家庭で育った主人公と、地方から上京し自らの力で生活を切り開いてきた女性。異なる背景を持つ2人が偶然出会い、それぞれの生き方を見つめ直していく物語。自分には手に入らないものを前に、それぞれの「生きづらさ」を抱える2人は、家庭や社会から押し付けられるジェンダー観に揺さぶられつつも、自分らしい生き方を探っていく。

ポイント

本作品は、経済的状況、東京と地方の地域間の違いなどの社会的・構造的な格差を浮き彫りにしています。

結婚の際、相手から家族の背景を調べる身元調査※2を受けた主人公が、周囲の期待に縛られながらも自尊心を模索する姿が注目すべき点と言えます。

特権的な立場を享受する一方、家制度の維持が個人の意志に優先されるなど、現代社会における自由と選択、幸せを求める権利についても、深く考えさせられる内容です。

執筆 吉田 加奈子（東京都人権啓発センター 専門員）

※1 アイヌの出自を持たない多数派の日本人。

※2 調査会社などを使って出身地や家族の状況を調べることで、人権を侵害し、差別につながるおそれがあるとされる。

EVENT 人権啓発行事のご案内とお知らせ

5月1日～5月7日は憲法週間、5月3日は憲法記念日です。 **様々な人権課題**

毎年5月3日の憲法記念日を含む5月1日から7日までの1週間を「憲法週間」とし、国民主権、平和主義そして基本的人権の尊重を定めた日本国憲法の意義を再確認する取り組みが各地で行われます。

※東京都からの人権関連の最新情報は、総務局人権部のホームページでご確認ください。



毎年4月は「若年層の性暴力被害予防月間」

性犯罪・性暴力は、重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。政府は、進学・就職など新生活が始まる時期である4月を「若年層の性暴力被害予防月間」として、若年層が性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための広報・啓発を集中的に実施しています。

※「若年層の性暴力被害予防月間」のウェブサイトでは、ポスターや動画を順次公開していきます。ぜひご覧ください。



クローズアップ人権コーナー

災害と人権：誰もがつながる社会をめざして

災害時の被災者支援においては基本的人権を尊重した取組が求められています。近年の災害時に発生した人権問題に関わる具体的な事例を参考にしながら、人権に配慮した対策(防災)について、一人ひとりが考えるための展示を行います。

日 時 2025年3月17日(月)～2026年2月末(予定)
開室時間 9:30～17:30 日曜・年末年始休館(祝日は開館)
会 場 東京都人権プラザ 1階 展示室

災害に伴う人権問題

東京都人権プラザ 4種類の人権相談

土日祝を除く・全て無料

「インターネットにおける人権侵害」に関するSNS(LINE)相談は、4月から平日毎日受付ます

- ① 一般相談 電話(月～金) 面接・オンライン(月～金、火・木は午前のみ)(面接・オンラインは要予約)
 - ② 法律相談 面接・オンライン(火)(要予約)
第4火曜のみ電話相談
 - ③ 「インターネットにおける人権侵害」に関するSNS(LINE)相談 SNS(LINE)(月～金)
 - ④ 「インターネットにおける人権侵害」に関する法律相談 面接・オンライン(木)(要予約) 第4木曜のみ電話相談
- ※面接の相談時間 40分以内

電話相談・SNS相談

相談時間 ① 9:30～17:30 ②④ 13:00～16:00
③ 16:00～22:00(受付21:30まで)
電話番号 ① 03-6722-0124
②④ 03-6722-0126
面接予約の電話番号は全て 03-6722-0124
アカウント名 ③ インターネットにおける人権侵害相談@東京

※相談時間、受付方法等の詳細はこちらからご覧いただけます。



東京都人権プラザ(指定管理者:(公財)東京都人権啓発センター) 港区芝2-5-6 芝256スクエアビル TEL 03-6722-0123

(公財)東京都人権啓発センター賛助会員募集のご案内

皆様とパートナーシップを築き、人権意識の高揚、人権問題の解決に向けて、ともに手を携えてまいりたいとの趣旨から「賛助会員制度」を設けております。趣旨にご賛同いただき、是非ご加入下さい。

団体会員の皆様

(公財)東京都農林水産振興財団 (公財)東京都中小企業振興公社 (株)首都圏環境美化センター (一財)東京都人材支援事業団 東京都中小企業団体中央会 (公財)東京都障害者スポーツ協会 (公財)東京都つながり創生財団	東京都下水道サービス(株) (公財)東京都歴史文化財団 (一財)東京都営交通協力会 (一社)東京都信用組合協会 (一社)医療大麻dotオルグ (公財)東京都福祉保健財団 (公財)東京都学校給食会	(一社)東京環境保全協会 東京臨海高速鉄道(株) (株)東京エイドセンター (公財)東京しごと財団 東京交通サービス(株) 東京人権啓発企業連絡会 多摩都市モノレール(株)	東京都職員信用組合 東京都商工会連合会 (株)東京ビッグサイト (公財)東京観光財団 (公財)東京税務協会 東京都立大学法人 (公財)東京都交響楽団	(一財)東京都弘済会 東京都住宅供給公社 自治労東京都本部 東京食肉市場(株) 東京港埠頭(株) 東京都競馬(株) (株)東京交通会館	(株)ゆりかもめ (順不同)
---	---	--	--	---	-------------------

個人賛助会員 一口 2,000 円

団体賛助会員 一口 30,000 円

問い合わせ TEL 03-6722-0083

((公財)東京都人権啓発センター 企画広報課まで)



【編集後記】子どもの頃、学校が終わって家に帰るとテレビで「セサミストリート」が放映されていた。かわいくて面白いお話に毎回、ワクワクして見ていたことを覚えている。その中に、これほど子どもを思う気持ちが詰まっていたとは…！すべての子どもたちが安心して自分らしく成長できる環境を、私たち大人はつくることができているだろうか。久しぶりに「セサミストリート」が見たくなった。(田村)

誰もが幸せを感じできる社会へ

TOKYO人権

Vol.105 2025年春号 2025年3月31日発行(年4回発行)



マルチメディアDAISY版を作成しています。ご希望の方は(公財)東京都人権啓発センターまでお問い合わせください。「DAISY(デージー)」とは、視覚障害などさまざまな理由で活字を読むことが困難な方のための、デジタル図書です。

この冊子は再生紙を使用しています。本誌の無断転載はお断りします。本誌を研修等でご利用の際は出典をご明記ください。

制作 株式会社ブックマーク

発行 公益財団法人東京都人権啓発センター

〒105-0014 港区芝2-5-6 芝256スクエアビル2階

TEL 03-6722-0085 FAX 03-6722-0084

<https://www.tokyo-jinken.or.jp/>